

公開フォーラム

in 綾町

綾照葉樹林の 生物多様性と恵み

2019年 11月30日(土) 番外編 12月1日(日)

森を知る

講演内容と演者

〈公開フォーラム〉

日時 2019年11月30日(土)

開場 12:30

講演 13:00～17:00

ポスターセッション

14:30～15:30

会場 綾町高年者研修センター

参加費 無料

◎ お問い合わせ・お申込みは
裏表紙をご覧ください。

1. 「綾の森と対馬の森」
～日本を代表する照葉樹林をくらべる～
真鍋 徹
2. 「綾の森の動き」
～綾リサーチサイト 30年間の調査結果から～
山川 博美
3. トークセッション「照葉の森が育む山のくらし」
井ノ口 三郎
4. 「綾の照葉樹林プロジェクトから
綾ユネスコエコパークへの系譜」
～綾の照葉樹林とその恵みを活かした
市民活動の広がり～
朱宮 丈晴
5. 「ヤマビルの吸血被害やマダニによる感染症は
どうして全国に拡大したのか？」
谷 重和

主催：国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所九州支所

共催：綾の照葉樹林プロジェクト連携会議（九州森林管理局・宮崎県・綾町・（公財）日本自然保護協会・（一社）てるはの森の会）

後援：環境省生物多様性センター 宮崎大学 宮崎県教育委員会 北九州市立自然史・歴史博物館

公開フォーラム

in 綾町

綾照葉樹林の 生物多様性と恵み

2019年11月30日(土)

開場 12:30

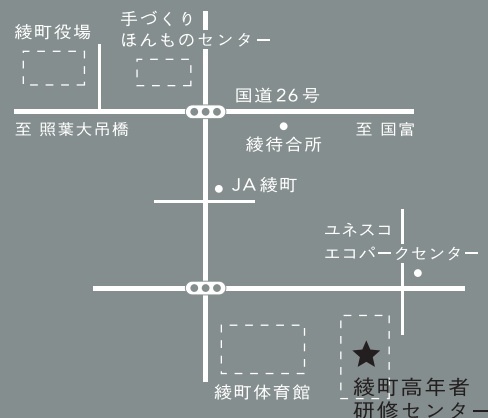
会場

綾町高年者研修センター

綾町大字南俣 546-1

(宮崎交通綾待合所から徒歩5分)

MAP



*駐車場が少ないため公共交通機関のご利用、
またはお乗り合わせにてご来場ください。

PROGRAM

- 13:00 開会
- 13:15 講演1: 真鍋 徹
- 13:40 講演2: 山川 博美
- 14:05 講演3: トークセッション 井ノ口 三郎
- 14:30 ポスターセッション(1時間)
- 15:30 講演4: 朱宮 丈晴
- 15:55 講演5: 谷重 和
- 16:20 総合討論
- 17:00 閉会

講演 1

「綾の森と対馬の森」

～日本を代表する照葉樹林をくらべる～

真鍋 徹 まなべ とおる
北九州市立自然史・歴史博物館

人手がほとんど加わっておらず、かつ広い面積を有する照葉樹林は、ほとんど残っていません。良好な林の条件といえるこれら2要因を有する綾町の林は、日本の照葉樹林の本来の姿を今に伝える極めて貴重な存在です。一方、長崎県対馬市の龍良山(たてらやま、標高約560m)にも、両要因を有する照葉樹林があります。1923年に「龍良山原始林」として国の天然記念物に指定されたこの林は、“山”そのものがご神体とされてきたことなどのため、スダジイやウラジログシ、イスノキなどの巨木が生育する林として守られてきました。本フォーラムでは、日本を代表するこの2つの照葉樹林の異同などをご紹介します。



講演 2

「綾の森の動き」
～綾リサーチサイト30年間の調査結果から～

山川 博美 やまがわ ひろみ
森林総合研究所九州支所

森林総合研究所では、森の動きを解明するため1989年（平成元年）に綾の照葉樹林に4ヘクタール（200m×200m）の調査区を設定し、樹木の生死や成長量について観察してきました。30年のなかで起こった大きな出来事は1993年（平成5年）の台風13号の直撃です。この台風は再来間隔が100年程度とされる非常に大きなもので、綾の森も非常に大きなダメージを受け多くの樹木が倒れました。樹木が倒れた後の林冠には大きな穴（ギャップ）が開き、その後そのなかで新しい樹木が芽生え、森が少しずつ再生していきます。このような枯死と再生の繰り返しが絶えず森では起こり、森が動いています。では、綾の森は30年間でどのように動いてきたのでしょうか。この森の動きについて紹介します。

講演 3

トークセッション
「照葉の森が育む山のくらし」

井ノ口 三郎 いのくち さぶろう 綾町在住
木佐貫 ひとみ 聞き手

一年中緑の照葉樹林ですが、四季折々に変化する自然のなか、その昔、たくさんの生きものとともに人は山で暮らしていました。野菜がよく育った焼畑の自給自足生活、多古羅の運動会で高下駄を履いた青年団長時代、川中周辺を歩き回った営林署の仕事。特に山中に暮らした青年までは、とにかく朝から晩まで、ある時は明け方まで、動物を追いかけて、川で遊び、大変なことも多かったけど本当にいきいきとして楽しかった。その生活体験のひとつひとつは色あせることなく、今でも心の深いところの躍動をともなって思いだされます。

講演 4

「綾の照葉樹林プロジェクトから
綾ユネスコエコパークへの系譜」
～綾の照葉樹林とその恵みを活かした
市民活動の広がり～

朱宮 丈晴 しゅみや たけはる
日本自然保護協会

綾町における開発をめぐる自然保護問題から転換して官民協働の照葉樹林復元プロジェクトである「綾の照葉樹林プロジェクト」が発足してから10年以上が経過しました。その後、半世紀以上に及ぶ自然生態系農業や科学的な根拠を示す綾リサーチサイトでのモニタリング調査などの取り組みがユネスコにより評価され、2012年綾ユネスコエコパークが誕生しました。2016年に綾町民向けに行われた意識調査や2017年に行われた綾の照葉樹林プロジェクト10年評価の結果を紹介します。一方で、もともと自治公民館活動など市民による活動が活発に行われていましたが、外部が関わる外発的な活動と並行して市民による内発的な活動の萌芽が見られるようになり、多様な広がりを見せています。

講演 5

「ヤマビルの吸血被害やマダニによる
感染症はどうして全国に拡大したのか？」

谷 重和 たに しげかず
ヤマビル研究会

ニホンジカ（以下シカと略す）の異常な個体数増加に伴う森林被害が、日本各地で深刻となっています。シカはこの25年間で10倍に増え、2015年の推定生息数は約304万頭。2017年の日本の森林被害面積は6000ヘクタールに達し、その森林被害の大部分は（74％）シカの食害によるものです。林床に生えている豊富な下草がシカに食べ尽くされ、地表がむき出しになっています。奥山に下草がなくなるとシカは山を下り、里山や人家周辺にまで草を求めて降りて来るようになりました。ところが、シカにはヤマビル・マダニが多く付着しており、シカと共に全国各地に運ばれて拡がりました。



ポスターセッション

綾町をフィールドとした自然科学、人文科学などの研究成果を一般の方々に成果を知ってもらうとともに、綾町で調査・研究する人々の交流を目的とします。発表者は大学・研究機関の研究者に加えて私設の研究会や中学校の活動も含め、約20件の発表を予定しています。

ポスター発表一覧

- ① **10年間で確認された照葉樹林の甲虫**
笹岡 康則 宮崎昆虫同好会
- ② **モニタリングサイト 1000 森林サイトにおける綾照葉樹林の位置づけ**
安部 哲人 森林総研九州支所
- ③ **綾照葉樹林で発生したナラ枯れ被害**
平尾 多聞、小田 樹、酒井 絵莉、
水嶋 啓太、平田 令子 宮崎大学農学部
- ④ **自然と共に生きる町の
自然への感謝のカタチ**
綾神楽復元プロジェクトチーム
- ⑤ **綾の照葉樹林 樹木ランキング**
齊藤 哲 森林総研関西支所
- ⑥ **綾国有林における人工林下層植生の
侵入に関与する要因の解明**
光田 靖 宮崎大学農学部
- ⑦ **ユネスコエコパークのまち 綾町の取り組み**
河野 円樹 綾町役場ユネスコエコパーク推進室
- ⑧ **宮崎県綾町における
ミツバチ送粉サービスと景観構造の関係**
山城 悠太 宮崎大学農学部
- ⑨ **森林総研綾試験地付近の鳥類**
中村 豊 日本野鳥の会宮崎県支部・NPO 法人宮崎野生動物研究会
- ⑩ **京都盆地周辺と宮崎県綾照葉樹林における
コジイの種子生産パターンの違い**
平山貴美子、大久保朔実、細渕文孝、
田中一成、福濱有喜子 京都府立大学
河野円樹、河野耕三 綾町役場ユネスコエコパーク推進室
- ⑪ **綾の照葉樹林プロジェクト
～照葉樹林の保護・復元に向けた官民協働プロジェクト～**
綾の照葉樹林プロジェクト連携会議
- ⑫ **綾町照葉樹林の大型菌類**
黒木 秀一 宮崎県総合博物館
- ⑬ **照葉樹林の炭素固定能について**
佐藤 保 森林総研森林植生研究領域
- ⑭ **綾町の農地における窒素動態の
分析方法に関する研究**
今村 里緒、戸敷 浩介、近藤 友大 宮崎大学地域資源創成学部
- ⑮ **森があるから貝がいる**
西 邦雄 日本貝類学会
- ⑯ **照葉の森水域に生息する魚類**
岩田 一夫 宮崎県水産試験場
- ⑰ **個体識別調査でみえてきた
イシガメの長距離移動
～綾町におけるニホンイシガメの長期モニタリング調査～**
西田 伸 宮崎大学教育学部
河野 円樹 綾町役場ユネスコエコパーク推進室
- ⑱ **綾の垂直分布と地形地質**
後藤 繁俊 てるはの森の会
- ⑲ **人と植物が共存することによって生まれること**
黒木佐和、川上峻、吉田青空、門前美桜、
後藤拓翔、八村陽香 綾中学校

綾とむかばきのユネスコエコパークの違い・共通点

平原咲和、藪内雄斗、湯浅広菜、前田心陽、
角谷莉乃、比嘉夢翔、松元ひなた 綾中学校

〈 公開フォーラム 〉 〈 番外編 〉

お申込み・お問合せ先

FAX、メール、郵送にてお申し込みください。
〈締め切り〉11月25日(月)

一般社団法人 てるはの森の会

〒880-0014 宮崎市鶴島2-9-6 みやざきNPOハウス403号

FAX: 0985-35-7289

TEL: 0985-35-7288

E-mail: teruha@miyazaki-catv.ne.jp

名前			年齢		
電話			FAX		
住所					
メール					
参加希望	☐	11/30	フォーラム	☐	
	☐	11/30	綾神楽編	☐	
	☐	12/1	散策編	☐	